

にいがた労福協

<ライフサポートセンター>

No27 2016年 10月 25日 発行

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2

Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891

e-mail:ni-rfk@bz04.plala.or.jp

URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>

発行責任者 山田 太郎

2016にいがたワーク&ライフフォーラムin新発田

～連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて～

いきわらいちぎ 生笑一座!

「生きてさえいれば
いつか笑える日が来る」



人間らしく生き、働き、暮らすことのできる社会の再生をめざす取り組みが全国各地で芽生え、広がっています。県内においても、これらの取り組みを持ち寄り、連帯・協同の力で安心・共生の福祉社会をめざ

した、ろうきん福祉財団と県労福協の連携した事業としてワーク&ライフフォーラムは、今年で4回目を迎えました。
フォーラムは、9月24日(土)・25日(日)の2日間の日程で開催され、1日目

の全体集会は、月岡温泉「清風苑」、2日目の講演および各セッションは、敬和学園の2会場において開催され全体で370名が参加されました。

1日目は、下越地区労福協会長・福井実行委員長の開会あいさつに続き、労福協からのメッセージとして、フォーラムの意義や取り組み等が山田専務(県労福協)から発信されました。

その後、本フォーラムの目玉である、奥田知志&「生笑一座(いきわらい)」の皆さんによるトークセッションが開催されました。

一座の名称「生笑」は、「生きてさえいればいつか笑える日がくる」。北九州市で10年前後ホームレス生活を余儀なくされ、まさに死線を乗り越え自立の道を歩んでこられた5名のメンバーと奥田座長の軽妙なやり取りの中で笑いあり、涙あり、憤りありの感動のドラマ仕立ての講演となりました。

全体交流会では、恒例となった「食べ残しゼロ作戦」を実施、「飢餓」と「食品ロス」について意識し、参加者の皆さんからも協力してもらいました。

2日目は、「賀川豊彦く労福協運動」をテーマに、早稲田大

学教授・篠田徹氏から基調講演を受け、その後、各セッションに分かれ、安心社会、ボランティア、健康・福祉、地域活性化、子育て、環境問題など、11の分野におけるテーマが設定されたセッションへと移りました。

この2日間のワーク&ライフフォーラムを契機に労働者福祉運動に携わる諸団体をはじめ、地域課題に取り組むNPOや市民活動団体、自治体との連携を図り、相互に補完しあうことで労福協運動のネットワーク強化とウイングの拡大がさらに発展していくことを期待します。





第94回国際協同組合デー記念 第26回新潟県協同組合間提携研究集会

7月11日(月)、新潟ユニゾンプラザにて、第94回国際協同組合デー記念・第26回新潟県協同組合間提携研究集会が開催され関係団体から180名が参加されました。

この研究集会は、国際協同組合デー(7月第1土曜日)を記念し、毎年7月に開催しており、提携協議会・高橋委員長の主催者挨拶後、「電力の地産地消による持続可能な社会づくり」をテーマに、佐藤社長

・会津電力株式会社)の基調講演がありました。

その後、実践報告として、①津南町森林組合「カーボン・オフセット事業」、②J A全農にいがた、③新潟県中小企業団体中央会から、活動が紹介されました。

この協議会は、協同組合が提携を通じて太い絆で結ばれるよう共通課題の解決に向けて勤め、相互の機能を高め、地域経済の発展に寄与することを目指しています。また、秋には、今年で18回目となる「協同組合まつり」を10月23日(日)に予定しています。

2016年度 事業団体・地方労福協 合同会議

7月12日・13日、2016年度事業団体・地方労福協合同会議がホテルラングウッド(東京)で開催されました。神津会長あいさつ後、熊本県労福協・末長専務理事から熊本地震に関する報告として、被災地の状況やこの間の対策などについて報告がありました。

その後、報告事項として、中央労福

協、各事業団体、ブロック労福協から報告があり、続いて全福センター野寺会長から、テーマ「中小企業勤労者サービスセンターの役割について」講演を受けました。

協議事項では、「2016生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の取り組みと第3ステージに移行する奨学金問題の対応について、質疑・意見交換も含め確認されました。引き続き、第2回中小企業勤労者福祉関係団体(拡大)連絡会議が開催され、現状の課題ならびに今後の進め方について意思統一がはかられました。



勤労者の暮らしをサポート 育成会

(正式名称)

「勤労者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援・育成する会」

- 育成会は新潟労金に加入している団体会員(県内約2300会員)によって構成されています。
- 育成会には労金本支店所在地で活動する25の地区育成会があり、それぞれの地域で勤労者福祉の前進に関する諸活動を行っています。
- 育成会役員は各店舗ごとに設置された新潟労金の推進機構から選出されています。

夢咲Clubの案内



夢咲Clubは労金に加入して

いない勤労者やの方々が、労金を利用する際に加入いただくメンバーズクラブです。

預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用ができます。

<ご加入資格>

県内に居住または勤務する勤労者等

<ご入会手続き>

最寄りの労金本支店で手続きできます。

労金関係業務(育成会・夢咲Club)運営事務局 勤労福祉会館内

連絡先 Tel 025(281)1188

E-mail: yumesaki@n-yume.jp



新潟県総合生活協同組合 第62回通常総代会の開催

8月23日(火)、ANAクラウンプラザホテル新潟にて、新潟県総合生活協第62回通常総代会が300名を超える総代(組合員)が参加し開催されました。田才理事長から、総合生協が抱えている組織と経営課題を中心にあ

いさつがされました。

1つは、「全労済との組織統合」に向けた課題であり、もう1つは、「クルコなど購買・供給事業の健全化」のために「事業連合加盟」の方向を探るという課題です。

全労済との統合に向けた検討の過程で組織を分離せざるを得ず、その方向で確認するとともに全労済統合と同期にクルコ事業の受け皿としての新しい生協を立ち上げることをめざし、コープネット事業連合加盟の方向を決定しました。

「これから数年は、総合生協が経済事業と購買・供給事業の二つの組織に分かれていく時期となるが、総合生協の理念「助け合う心を大切に」一致団結して課題を克服していきたい」と表明されました。

その後、すべての議事が確認され役員の補充選任では、長年にわたり総合生協の事業と活動に貢献されてきた田才理事長、岡田専務理事が今総代会で退任され、新たに小野塚理事長、山口専務理事を軸とする新たな体制が確立されました。理事会を代表して、小野塚理事長から全労済

との組織統合や新設生協の立ち上げなど、大きな課題を抱えているが役員一丸となってチャレンジしていく力強い決意が表明され総代会は閉会となりました。

第29回新潟県労福協 チャリティゴルフ大会 熊本へ義援金10万円

9月29日(木)、労福協主催による第29回チャリティコンペがフォレストカントリー倶楽部にて開催されました。

大会当日は、1日中晴れ間のない最悪の空模様の中でしたが、参加者58名は持ち前の腕と練習の成果をいかんなく発揮され、それぞれにプレーを楽しみながら交流を深め合うことができました。

参加者の厚意により集まったチャリティ金8万円余は、労福協の寄付金等と合わせ、今年4月に甚大な被害を受けた熊本地震の被災者支援として熊本県労福協へ送らせていただきました。ご協力大変ありがとうございました。



<大会の上位入賞者>

東コース優勝者 東條 雅夫(労福協)
西コース優勝者 伊藤 一彦(全自交)
総合 準優勝 片原 匡都(JAM新潟)

東ベストグロス 山際 輝久(基幹労連)
西ベストグロス 伊藤 一彦(全自交)

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (2016年8月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高(千円)
無担保ローン	49,605,435
有担保ローン	129,310,074
合 計	178,915,509

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18

一般財団法人新潟県労働者信用基金協会



社会情勢の変化の中で新たな時代に対応する人材育成をめざした「にいがた福祉リーダー塾」は今年で第4期を迎えました。この間、69名の働く仲間が卒業し職場や地域で活躍されています。

今回も連合新潟、労金、総合生協、全港湾、ワーカーズコープから21名の塾生が参加しました。前期・後期を通じて4日間の日程の中で7つの講座を受講しました。

後期の日程終了後の修了式では、全員がもれなく卒業されました。

第4期にいがた福祉リーダー塾 前期・後期・修了式



(日程) 前期 7月15日・16日
後期 10月7日・8日
(会場) 「万代シルバーホテル」

(講師団)

中央労福協アドバイザー 高橋 均氏
新潟県労協専務理事 山田 太郎氏
ワーカーズコープ事務局長 小椋 真一氏
早稲田大学名誉教授 田村 正勝氏
日本女子大学名誉教授 高木 郁郎氏
まちづくり学校理事 金子 洋二氏
新潟県労働金庫専務理事 中川 亨氏
新潟県総合生協専務理事 山口 栄氏
中央労福協参与 山本 幸司氏

LSC・PS・よりそいホットライン合同研修会の開催

最低賃金
ご存知ですか?

下回ったら法律違反!

最低賃金は、法に基づいて国が定める賃金の最低額です。給料が最低賃金を下回る場合には、その差額を請求することができます。

毎年、見直されます!

毎年、都道府県ごとに見直しが行われます。

派遣先の最低賃金を適用!

派遣先が、派遣先ではなく、派遣先の地域の最低賃金が適用されます。

深夜勤務は25%アップ!

深夜勤務の場合には、深夜割増25%が加算されます。この他、時間外割増や休日割増が加算されるケースもあります。

あなたの街 **新潟県** の
地域別最低賃金は

753円 時給
941円 時給

午後10時～午前5時に勤務する場合
深夜割増25%が加算

2016年10月1日～

おかしいな?と思ったら「なんでも労働相談ダイヤル」へ

7月8日(金)、ライフサポートセンター・パーソナル・サポートセンター・よりそいホットライン等、相談支援事業を実施している団体による合同研修会が長岡市・まちなかキャンパス交流ルームで開催され、各セ



ンターの相談員等26名が参加されました。この研修会は、昨今、各相談事業における相談内容が重く複雑な傾向にあることから、相談員のメンタル面をケアするためや各相談員間の経験交流、情報交換を目的に開催しました。

研修会では、長岡パーソナル・センターでご協力いただいている医療法人立川メデイカルセンター悠遊健康村病院精神科医長・青木庸子氏を迎え、「知的障害」をテーマに問題提起として講演をいただきました。

その後、パーソナル・サポートセンターからテーマにまつわる事例報告に基づき、参加者による活発な意見交換となりました。参加された相談員から次回も開催してほしいとの要望もあり、9月9日に「統合失調症を考える」をテーマに開催しました。今後についても定期的な開催を予定しています。



いごうよれんごうに
0120-154-052



日本労働組合総連合会新潟県連合会(連合新潟)
<http://www.jtuc-rengo.jp/nlgata/>

連合新潟



2016年度 中央労福協主催 全国研究集会

「あらゆる世代・層に広がる格差と貧困を解消するために！」



「あらゆる世代・層に広がる格差と貧困を解消するために！」をメインテーマに、2016年度全国研究集会が、9月8(木)・9日(金)と札幌市で開催され302名(新潟県労福協から6名)が参加しました。

1日目は、主催者を代表した神津会長の挨拶に続き2本の講演がありました。

講演Ⅰ 宮本 太郎 氏

(中央大学法学部教授)

テーマ「孤立と貧困を生まないまち

づくりを支える
講演Ⅱ 藤田 孝典 氏

(NPO法人ほっとプラス
代表理事)

テーマ「全世代に広がる貧困と生活困窮者支援」下流老人と若者世代」

2日目は、地元北海道の地で活躍されている2つの市民活動団体から特別報告として活動紹介がありました。

報告Ⅰ 佐々木あゆみ 氏

(ワーカーズコープ北海道事業本部事務局長)

テーマ「ともに生きる地域づくり」
報告Ⅱ 平井 照枝 氏

(しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道代表)

テーマ「ひとり親家庭の現状と活動から見える社会的課題」
その後、「若者をはじめとする貧困の世代間連鎖を断ち切るため、いま私たちにできること！」をテーマに、これまでの講演や特別報告などを基に、パネルディスカッションが行われました。

(パネリスト)

藤田 孝典 氏

(NPOほっとプラス代表理事)

石田 照正 氏

(連合非正規労働センター局長)

山崎 俊一 氏

(北海道教職員組合)

山田 太郎 氏

(新潟県労福協専務理事)

(コーディネーター)

花井 圭子 氏

(中央労福協事務局長)

子どもの貧困、奨学金という名の借金を抱えて返済に苦しむ若者、ブラック企業で働かざるを得ない若者、リストラ、家庭崩壊、病気などで老後生活に苦しむ高齢者もいます。

こうした世代・層を超えて拡大している格差・貧困に対して、労福協の柱である「互助機能の発揮」がこれまで以上に求められています。労働組合、労働者自主福祉団体、協同組合は、生活拠点である地域、職場で助け合いの機能を発揮し、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向けて、その具現化に取り組む必要があります。併せて、労福協運動のもう1つの柱である「公助の役割発揮」として、政府・自治体に対して税・社会保障を通じた再分配機能を強化する政策への転換を求める運動が必要です。その意味で本集会は、私たちは地域・職場で何ができるかを考察する意義ある研究集会となりました。

東部ブロック労福協
ライフサポート事業経
験交流のin千葉



8月5日(金)・6日(土)、

東部ブロック労福協主催のライフサポートセンター(以下、LSC)事業経験交流がオークラ千葉ホテルにて開催されました。交流会には、1都10県から33名が参加し、新潟県労福協からは、県・ながおか・柏崎・佐渡LSCのコーディネーター等、4名が参加しました。

1日目の交流内容は、「最近の相談支援事例の傾向と留意事項」をテーマに、「菊田尚晴氏(精神福祉士)」から精神疾患による相談が増加にあること、傾聴が重要であること等、事例を交え講演がありました。その後、各県よりLSCの特徴的事例や懸案事項の報告がありました。

8月26日(金)～27日(土)、静岡県三島市『東レ総合研修センター』において、東部ブロック協議会の第10期(後半)福祉リーダー塾が開催され50名(塾生32名・スタッフ18名)が参加しました。黒川会長あいさつ、大森アドバイザーのオリエンテーション(後半で研修する課



東部ブロック労福協 第10期福祉リーダー塾

2日目は、「ユニバーサル就労、貸付制度、子ども応援等の取り組み」をテーマに、「池田徹氏(社会福祉法人生活クラブ風の村・理事長)」から、全国初の個室ユニット型特養の建設、障がい者施設の充実や就労支援、支援付き就労地域づくりセンターの設置提案を行っていることなど、報告がありました。

こうした講演や各県LSCの事例をふまえ意見交換や解決に向けた取り組み等、意義ある交流会となりました。

自らは何をしたいか、問題意識を鮮明にすることを目的とした小論文の作成に向けグループミーティングを行いました。そして、9月30日開催予定のフォローアップ研修で小論文の報告会を兼ねて修了式を迎えることとなります。



題)後、後半の研修をスタートしました。

第1講座

テーマ

「共益と公益」今、労働組合と協同組合に求められる労働者福祉運動の課題」

講師

池本 修悟 氏
(ユニバーサル志縁社会創造センター・専務理事)

第2講座

テーマ

「労働組合・労働協とNPOの連携と協働」

講師

山岸 秀雄 氏
(法政大学大学院・教授)

第3講座

テーマ

「ビジネスユニオリズムからソーシャルユニオリズムへ」

働くことを軸とする安心社会の実現に向けて」

講師

山本 幸司 氏
(中央労福協・参与)

2日目は、前半・後半の講義をふまえ、

東部ブロック労福協 2016年度事業団体 責任者会議の開催

9月1日(木)、東部ブロック労福協2016年度事業団体責任者会議が茨城県・水戸京成ホテルで開催され、新潟県からは、連合新潟、新潟労金・総合生協・労福協の代表が参加しました。会議は、中央労福協、連合関東ブロック代表の挨拶後、

各事業団体から、それぞれおかれている組織現状と課題について報告されました。論議にあたっては、①福祉事業団体をとりまく環境が厳しくなっている情勢について共有化をはかり、今後どのような対応が必要か検討する。

②福祉事業団体の「利用促進と共助拡大」に向け、労働団体なびに労福協がどのように関わっていくか、労福協に求めることなども含め、意見交換しました。



ろうきんカードが、ますます便利に!

セブン銀行
(セブンイレブンATM)

LAWSON
(ローソンATM)

FamilyMart
(ファミーネット)

お引出し お預入れ 平日・土日・祝日、時間に関係なく

※1.上記ATM利用/ 24時間OK! 手数料0円

※2.ろうきん以外のATMをご利用の場合、お引出し手数料は一旦口座から引き落とされますが、即時に利用口座へ入金(キャッシュバック)いたします。

●一部取り扱いできないコンビニエンスストアもございます。

新潟ろうきん 0120-191-880 (平日9:00~17:00)

毎日食べるものだから
新潟県産・国産にこだわります。

KuruCo
総合生協の宅配



0120-222-559
KuruCoコールセンター 月~金曜9:00~19:00

にいがた福祉リーダー塾・未来塾の開催 越前浜・トロピカルリゾート「ぼうわう(民宿)」

越前浜の民宿、トロピカルリゾート「ぼうわう」において、9月17日(土)・18日(日)の2日間、にいがた福祉リーダー塾の卒業生を対象に、フォローアップ研修とネットワーク強化をめざし、「未来塾」が開催されました。

三連休期間中の開催や天候不順も重なり、参加者は少なく、選りすぐられた精鋭による開催となりました。オリエンテーションの後、実践報告として、地域で活躍されている2つのNPO団体より報告を受けました。



◇里山で暮らす知恵と技術を継承する(川口の里山の暮らしを学ぶゲストハウスづくり)

NPO活動家 阿部 巧 氏

◇イノベーションプラットフォーム事業の取り組み(新しい環境エネルギー事業の創造)

おらって新潟 木村 義彦 氏

その後、実践報告を聞いて感じたことや自分たちは何がしたいか、何ができるか、など、グループディスカッションを通じ意見交換されました。

翌日に予定していた、「越前浜めぐり」は地元ガイドの説明を受けながらプチ体験するはずでしたが天候不順により中止となりました。

次回からは卒業生で構成する「未来塾運営委員会」を立ち上げ、企画の段階から多くの卒業生の参加を要請し検討していくこととしていきます。



<新潟ろうきん福祉財団では…>

「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」
をめざし、8つの事業を行っています！！

- NPO等助成事業 ●地域社会創造助成事業 ●大学生奨学金給付・貸与事業
- 高校生奨学金給付事業 ●文化講演会等開催事業 ●調査研究事業
- 県民の福祉向上に関する事業(ワーク&ライフフォーラム、セミナー等)
- ライフプランセミナー等開催事業(福祉リーダー塾、セミナー等)

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉会館内

一般財団法人 新潟ろうきん福祉財団

<http://zaidan-hukushi.or.jp>

地域の問題解決をナリワイにするシンポジウム!

少子高齢化や人口減少、貧困社会が影を落として様々な問題が日本列島を覆っています。特に地方衰退は深刻な状況にあり、地域の問題をみんなで協力して解決に取り組み、さらにそれをナリワイ(生業)とする人たちも出てきています。

労福協が会員として加入している「にいがた協同ネット」は、10月8日(土)、万代シルバーホテルにおいて、「地域の問題解決をナリワイにするシンポジウム!」を開催し80名が参加しました。

第一部の基調講演には、「地域ネットワークからの新たな社会構想」をテーマに津田直則氏(桃山学院大学名誉教授)より講演を受けました。

第二部は、新潟で地域問題の解決に取り組んでいる2つの団体を迎え、パネルディスカッションが行われました。

コーディネーターには、社会福祉が専門で地域支援合いの拠点づくりに関する研究家でもある、李



当面の主な活動予定

- 10月28日(金) よりそいホットライン運営委員会
- 28日(金) 公的扶助研究セミナーinながおか
- 29日(土) 公的扶助研究セミナーinうおぬま
- 29日(土) フードバンクにいがた「第3回食の映画祭」
- 31日(月) 長岡P S 支援調整会議
- 11月 6日(日) 自殺対策シンポジウムin新潟
- 8日(火) 地域づくりセミナーin田上
- 9日(水) " "
- 9日(水) フードバンクにいがた運営会議
- 12日(土) 生活困窮者自立支援全国研究交流大会
- 13日(日) " " (神奈川県)
- 15日(火) 第110回県労福協理事会・第36回臨時総会
- 15日(火) 県労福協事業団体責任者会議
- 25日(金) 中央労福協事業団体責任者会議
- 26日(土) 生きづらさから脱却するための支援者研修会
- 12月 1日(木) 東部ブロック第210回幹事会
- 1日(木) " 第51回定期総会
- 1日(木) " 創立50周年祝賀会
- 3日(土) フードバンクにいがた評議員会
- 10日(土) 三条市ソレイユ事務局会議
- 12日(月) 子ども食堂全国キャンペーン

在穂氏(新潟青陵大学准教授)をコメンテーターとして、津田先生からもアドバイザとして参加していただきました。パネラーには、宮内春香さん(そらいろ子ども食堂代表・大学生)から新潟青陵大学と新潟県立大学の学生が協力して子ども食堂を立ち上げ、運営している様子など報告されました。

もう一方のパネラーとして、木村義彦さん(おらつてにいがた市民エネルギー協議会事務局長)から市民による市民のためのクリーンなエネルギー事業と環境教育

が報告されました。このシンポジウムを通じて、世界の先進的な事例や県内の取り組みなどから、地域のことは地域が頑張る、そのことが基本ではないと感じられました。そして、あらゆる分野や垣根を越えたネットワークづくりが重要であることが参加者全体で共有されました。



宴

宿泊用 プラ

2016-2017

■期間
2016年11月18日(金)~
2017年4月15日(土) 12/30~1/3の期間を除きます。

■おひとり様代金 ※1泊2食付き・大人4名様以上1室利用の場合。税別。
8,000円~15,500円

総合生協グループ
コープ・トラベルセンター
株式会社 コープサービス

新潟営業所
〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6
☎025-245-8589

長岡営業所
〒940-0036 長岡市愛宕3-7-24
☎0258-39-7730

<http://www.niigata-travel.coop>
コープ・トラベルセンター 検索